

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
地歴・世界史A		1	2	明解 世界史A (帝国書院)
科目の概要と目標		近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学 期	第1部 諸地域世界と交流圏	序章 人類の始まり 1章 東アジアの文明 2章 南アジアの文明 3章 東南アジア世界 4章 イスラーム世界 5章 ヨーロッパ世界 6章 南北アメリカ 7章 ユーラシアの交流圏	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして人類が文明を築いていく過程を理解する。 ・東アジアの風土と諸民族、国際関係などを通して、東アジア世界の特質を理解する。 ・南アジアの風土と諸民族、カースト制、諸宗教の影響などを通し、特質を理解する。 ・西アジアの風土と諸民族、イスラーム世界の特質を理解する。 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシャ・ローマ文明、キリスト教、封建社会などを通して、ヨーロッパ世界の特質を理解する。 ・南北アメリカの風土と先住民に触れ、新大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。 ・8世紀以降の諸地域世界の交流の深まりに触れ、ユーラシア規模の交流圏の成立について理解する。 	
2 学 期	第2部 一体化に向かう世界	1章 繁栄するアジア 2章 大航海時代を迎えるヨーロッパ 3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命 4章 自由主義・国民主義の進展 5章 アジア諸国の動揺 6章 東アジアの大変動	<ul style="list-style-type: none"> ・諸帝国の政治と社会に触れ、文化の黄金時代を迎えたことを理解する。 ・ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓、主権国家体制の成立などに触れ、世界の一体化への動きと新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制について理解する。 ・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立などを通して、西ヨーロッパとアメリカに市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。 ・19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義と国民主義が進展していく様子について理解する。 ・世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とそれに対するアジア諸国の動揺の様子を理解する。 	
3 学 期	第3部 現代の世界と日本	1章 現代世界のめばえ 2章 第一次世界大戦がもたらしたもの 3章 “民族自決”を求めて 4章 経済危機から第二次世界大戦へ 5章 冷たい戦争と国際社会の変化 6章 地球社会の到来 21世紀の課題を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀という時代の特質を把握するとともに、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。 ・戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。 ・“民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。 ・第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考えることができる。 	